

二年 組 番 氏名

◆1 筆者があげている動物園の役割とは何か、四つ書き出そう。

- ① 人々にレクリエーションの場を提供すること。
- ② 野生動物を保護し、次の世代へ伝えること。
- ③ 野生動物についての調査や研究をすること。
- ④ 野生動物や自然環境について学ぶ場を人々に提供すること。

◆2 動物園の大きな役割について、現在はどうのような課題があると筆者は述べているか。

今ある「レクリエーションの場」に、どのようにして「学びの場」を  
組み合わせていくかということ。

◆3 筆者が勤めている動物園で「楽しみの場」と「学びの場」を両立させるために実践されている三つの事例を、  
表にまとめよう。

動物の種類	展示の工夫	来園者に学んでもらいたいこと
オラン ウータン	屋外に高さ一七メートルのタワーを 二本建てて、その間をロープとレール でつないだ。	「すごい」と感動を与える行動をす るための森林が失われつつあり、彼 らの生息を脅かしていること。
キング ペンギン	冬に、園内を集団で散歩させる。何 の脚色もせず、ただ彼らが歩く姿を 見せている。	自然の中で暮らすペンギンのた くましさ。
エゾシカ	岩山の上に登ってくるように餌の与 え方を工夫したり、ハイジャンプが できるように柵を設置したりする。	彼らとともに生きていることの 意味やその大切さ。

二年 組 番 氏名

◆1 筆者が教科書本文の中で、三つの展示方法を例示しているのはなぜか。次の観点からその効果を考えよう。

①例示があると文章はどのようにわかりやすくなるか。

「楽しみ」と「学び」から得るものは、動物の種類によって異なる。三つの展示をとり上げることによって、それぞれの「楽しみ」と「学び」を両立させることの大切さを読者が理解しやすくなる。

②筆者は、なぜ例示を三つあげたのか。（一つや二つではだめなのか。）

動物の生息する場所が、北方南方、日本国内外と分けられることや、樹上、陸地と海、山岳地帯と分けられることなどによって、「楽しみ」と「学び」の条件はさまざまに異なるので、それぞれを具体的に考えていく必要があるから。

③三つの例示をこの順番で並べることに、どのような意味や効果があると考えるか。

オランウータンの展示やペンギンの展示のように、親しみやすくわかりやすい例のあとに、日常的に目にするが多く、展示されている理由がわかりづらいエゾシカの例が続いている。これらを並べること、すべての野生動物の魅力が平等に引き出して伝えたい、という筆者の考えにつなげる効果がある。

◆2 この文章（「動物園でできること」）では、どのような点が工夫されているか。◆1を参考にしながら、文章の構成について考えたことをまとめよう。

この文章では、「楽しみの場合」と「学びの場合」を両立させる実践について、大きく三つの事例を示して述べている。三つの例は、生息する場所や環境問題との関係など、いくつかの視点で異なるものが選ばれている。このような構成の工夫によって、読者は、動物園の展示を多角的に考えることができるようになり、深く広い理解が得られるようになる。